

アジェンダ21すいた 会議録

作成者：八木

会議名	幹事会
日 時	令和4年5月17日（火） 15：30～17：30
場 所	オンライン開催
出席者(敬称略)	幹事：三輪信哉、水川晶子、福井一彦、藤田和則、 馬場慶次郎、小田信子、辻村光高 事務局：小山、篠田、笹、田中、八木
欠席者(敬称略)	馬場多佳子、池淵佐知子、荒堀尚
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・各部会、FSP チーム、各団体（市民団体、企業、大学等）、行政より 2 アジェンダ21すいた定時総会について <ul style="list-style-type: none"> ・日程、企画について（資料1） ・議案書について（資料2～5） 3 環境月間について（資料6） 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・zoomの契約について ・ホームページ担当会議について ・これまでの見直しと今後(SDGs 啓発等、団体交流会)について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ●幹事会次第 ●資料1 定時総会に伴うスケジュール ●資料2 R4 議案書 1号議案(活動報告) ●資料3 R4 議案書 2号議案(決算) ●資料4 R4 議案書 3号議案(活動計画) ●資料5 R4 議案書 4号議案(予算案) ●資料6 ロビー展示配置図
	<ol style="list-style-type: none"> 1 報告 <ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー部会（馬場（慶）） <ul style="list-style-type: none"> ・7月24日、8月14日それぞれ日曜日のお昼、山田のゆいぴあで、「親子で楽しくSDGsを学びませんか」という講座を行う。市報7月号に掲載予定で募集をかける。 ・とよなか市民エネルギーの会との交流会をきっかけに、クールアースウィークの期間中、とよなか市民エネルギーの会から講師を招き、10月1日（土）に、ベランダに置くことができる太陽光発電を作ろうという「じぶん発電所づくり」の講座を行う。前は座学のみだったが、今回は組立講座で、実費で2万弱の材料費がかかる。 ・子ども向け講座を博物館にお願いしている。日程は運営委員会で調整中である。 ■資源部会（水川） <ul style="list-style-type: none"> ・新しくなった片山浄水場見学は、6月で調整中。 ・資源部会の会議は、片山浄水場見学の時に会議を持ちたいと思う。 ■フラッグシッププロジェクトより <ul style="list-style-type: none"> 【地球温暖化防止】 1 クールアースウィークとムーンライトコンサートについて（馬場（慶）） <ul style="list-style-type: none"> クールアースウィークとムーンライトコンサートを進めている。 ムーンライトコンサートの会場で予定していた江坂公園に大規模改修が入り使えなくなった。明後日の会議で調整する。

【食品ロス削減】（水川）

- ・13日に会議を持った。
- ・「すいた食べきり運動」の協力店への働きかけ方法について確認した。
- ・千里南公園のレストラン・バードツリーの協力で、アンケートを取る話が進行中である（具体案はまだ検討中）。
- ・キャラクター「てまえどり」の活用方法をするために、吹田市ごみ減量再資源化推進会議の会議が7月1日にあるので、その会議に参加している店舗事業者に、「てまえどり」を使うよう提案するつもりだ。

■各団体より

【大和大学】（辻村）

馬場さんよりいただいた5月29日のCOP26の報告会の案内を学内で掲示した。

【大阪ガスネットワーク】（荒堀）

- ・2022年4月に大阪ガスネットワーク株式会社に変更した。
- ・バイオメタンなどの様々なカーボンニュートラル技術を展示する施設「Carbon Neutral Research Hub」の稼働が始まり、7月頭に市長に来ていただけるよう調整中である。その後、アジェンダの皆さんにも見学ができるようになったら案内したい。

【市民環境会議】（小田）

特になし。

（藤田）

- ・馬場さんの報告にあった博物館の子ども向け講座は7月31日に決定している。コロナ対策について、人数や、道具の貸し借りが不可などの制限等も含めて、日を改めて打ち合わせしたい。
- （福井副代表）時間は午後からでよろしいか。
- （藤田）時間は追って連絡する。

【行政】

（事務局 田中）

吹田市で行っている「熱中症対策事業アンケート協力者募集」という事業がある。熱中症の危険度が高まっている中、7月25日（月）～8月8日（月）の期間、65歳以上の行動記録（起床時、就寝時）のアンケートを取り、熱中症対策に生かすためデータを取りたいと思っている。現在、応募者が集まっておらず、アジェンダの中で、応募対象に当たる方は環境政策室にご協力お願いしたい。よろしければアジェンダの会員さんにメールを送りたいと思う

（事務局 小山）

- ・大和大学で「ガンダムオープンイノベーション」に採択されたと思う。それについて、グリーンインフラで街づくりの指標や持続可能な街づくりを報道で拝見したので、うちの都市魅力部を通じて、天野教授に連絡を取り、今週末に話をする予定になっている。先に辻本さんにお伝えすべきであったが、逆になってしまった。
- （大和大学 辻本）そこで廃棄するチョコレートの販売など食ロスのことをやりかけているので。
- （事務局 小山）市役所、アジェンダも一緒にできることがあれば、ぜひと思っている。
- ・先の議題になるが、コロナが2年間あったので、結構、お金が余っている。今年は積極的に使っていきたい。例えばベランダ発電で、参加者の負担を減らすなどに使う

など、各部会でも、今年はお金を使えるということを念頭に置いてほしい。後ほど資料で説明する。

2 アジェンダ21すいた定時総会について

【日程、企画について】(資料1)

(事務局 八木)

• 前回の幹事会で書面開催が決定したので、書面開催案のみを示している。大まかなスケジュールは、本日の幹事会で議案書が9割完成する。6月の前半に会計監査、6月15日に議案書冊子が完成となるので、それまでに6月の幹事会を開催し、議案書を確認させる。その後、全会員に議案書を送付し、質問等をいただく。その質問に対して、7月8日までに回答をいただき、7月の幹事会で回答文案を確認させる。7月13日に回答書、決議投票書を送付し、決議投票書を提出いただき、最終的に結果報告で決議する。

• 現地開催のため仮押さえしていた千里山コミュニティーセンターをキャンセルして問題ないかと、意見交換会をしてはという意見があったので、するかどうか、いつ行うのかについて確認したい。

(三輪代表)

ポイントは書面開催に絞り込んだことと、会場を押さえる必要があるかですが、何か意見ありますか。

(馬場(慶))

意見交換会をやるとして、どこでやるかと、タイミングとしては、議案書が届いてから、意見提出までに行うのがいいのではないか。

(事務局 小山)

そのタイミングかと思う。

(三輪代表)

意見交換会の内容は、会員の皆さまに今回の議案について、簡単な説明とご意見をいただく場を設けるといことか。

(福井副代表)

コロナのため書面開催になったと思うが、意見交換会をやるということは、対面で行うのか、オンラインで行うのか。

(馬場(慶))

オンラインで行う。

(三輪代表)

意見交換会をする方向でとは思うが、どれぐらいの人が参加してくれるのかとは思う。意見交換会をするか、しないかの意見が欲しい。

(藤田)

書面で意見を聞く手段を取っているので、特別必要ではないと思う。またオンラインでやる場合、ミーティングのIDとパスワードを会員に事前配布が必要であり、ID等の着確認などの手間もある。

(水川)

昨年も書面だったと思う。昨年、質問などがたくさんあったのなら開催したほうが良いと思うが、少なければ書面でよいと思う。

(三輪代表)

昨年は、確か一人から意見が挙がっていたと思う。確か会の運営ではなく、抽象的な環境論だったと思う。

(事務局 小山)

確か、そうだった。

(三輪代表)

回答したが、一般的な回答しかできなかったという記憶がある。実際に、発言してくれる方はいるかもしれないが、書面でも応答はできたと考える。

(馬場(慶))

書面だと、一方的なやり取りにしかならないので、オンラインの場を設けることができるなら、そのほうがいいと思う。正式な手続きではないが、そういう場を設けることで、いろんな意見を吸い上げることができ、会の活性化という意味ではやるべきだと思う。

(小田)

馬場さんの言う目的だったら、総会を機にと思うが、この時期、事務局が忙しいのではないかと気がなる。大丈夫なのであれば、やってもいいかと思う。参加者は少ないのではないかととも思う。

(馬場(慶))

時期はいつでもいいが、エネルギー部会の新しい会員さんたちは、いろいろ思いを持っていて、皆の前で発言したいと思う。私もエネルギー部会全員の声を、ここで話すことはできない、私の意見とも違うところがある。そういう意味では、自分の意見を三輪代表や環境政策室に聞いてほしいと思う。

(三輪代表)

やりましょう。小田さんが心配している事務局の事情もあるが、今までそういった形ではやったことがないので、一度やってみる、事務局はどうか。

(事務局 田中)

先ほど提案のあった日程、議案書を送ってから末までの間の日程では、日もないので厳しい。何を目的として意見交換会をやるかで、意見書提出のための意見交換会であれば、強硬な日程でも中旬から末までにやらないといけない。議案書とは関係なくても意見交換会をしたいのであれば、書面開催の事務処理もあるので、8月にするなど、時期を改めたいいただいたほうがいい。7月も続くので、8月のほうがありがたい。

(事務局 小山)

開催のメールを出して、会議室を開くだけなら、それほど準備はいらぬと思う。

(事務局 田中)

案内文を考えたりなどあるが、間に合うのであれば、中旬から末でもいい。

(事務局 小山)

できるという方向で。

(三輪代表)

趣旨として、馬場(慶)さんが言うように、多くの皆さんの意見を頂戴するフリーな場と考えるのであれば、総会と抱き合わせにする必要はないと思う。その意味では別途時間をかけて、エネルギー部会も資源部会も、それぞれのプロジェクトの方も一度、オンラインで皆が集まって話そうという機会を、今年度半ばまでにやってみるというのはどうか。そのほうが有意義な感じがする。

→(馬場(慶)) それでいいと思う。

→(藤田) 賛成。

(三輪代表)

では、今回は議案書についての意見は書面開催。別途、部会の皆さまとの交流会、意見交換会を実施していくということによろしいか。

(事務局 田中)

具体的内容は、徐々に相談させてもらう。

(事務局 小山)

やるのであれば、時期はある程度決めたらいいと思う。決めないと、先送りになってしまう。

(三輪代表)

いつごろが望ましいか。

(事務局 小山)

事務局はいつでもいい。

(三輪代表)

7月、8月にオンラインで参加できそうな、遅くても1、2カ月前から周知できるといいので、事務局で候補日をいくつかあげてほしい。

(事務局 小山)

2カ月前ということなら、7月から8月、夏休み中に実施ということになるので事務局から案を出す。

(事務局 田中)

案内文やスケジュールを次回までに考えることでよろしいか。

(三輪代表)

結構だ。今まで多くの方が望んでいたが、なかなか実施にいたらなかった。いつも総会の際に発言する方、意見を言う人が固定していたので、内容も固定していた。むしろ自由に発言して、意見交換できる場のほうが良いと個人的には思う。8月お盆より前ぐらい、夏休み中に実施できるよう事務局で案を検討いただきたい。

→(事務局)承知した。

【議案書について】(資料2~5)

(事務局 八木)

活動報告

資料2は、令和3年度アジェンダ21すいたの活動報告である。部会から提出いただいたものを取りまとめたものである。取組4については、小田様から抽出依頼を受けましたので、画面は修正したものだ。(7)パンフレットの発行については、今月中に発行する予定だが、まだ発行できていないので、部数を記述できていない。

エネルギー部会と資源部会は、活動報告をいただけていないので、ご提出願う。

各部会のメンバーについて、変更があれば事務局まで連絡をお願いする。

収支決算(暫定)

資料3は、本日までの暫定決算となっている。収入については62万円の見込みに対して、約56万。支出については、コロナの影響があり、130万の見込みに対して、実績としては約30万になっている。繰越金として、約98万という状況である。パンフレットの印刷があるので、支出は多少増える見込みだ。

事業活動計画

資料4は、第3号議案、令和4年度アジェンダ21すいたの事業活動計画で、提出いただいたものをまとめたものだ。今回、全体事業として加えたものは、(8)毎年環境月間の展示はしているが、ポスターの印刷費用、3万円を追加している。ポスター1枚の印刷費用が3,000円だったので、仮に10枚印刷した場合の金額となっている。

エネルギー部会の事業計画は本日いただいたので、資料は昨年のものである。予算は、合計10万6,000円ほどであった。資源部会も、また提出をお願いする。

予算案

資料5は、活動計画を元に組んだ予算案である。収入は昨年度と同じ内容で、支出は、先ほどの活動計画を反映したものになっている。エネルギー部会、資源部会はまだ反映できていない(昨年の予算が入っている)。予備費としては39万程度、エネルギー部会の予算を反映させると35万ほどと一定の金額を設けている。コロナで予算が使えていなかった背景もあり、今年度はお金が使いやすいです。

新規事業候補

資料「新規事業候補」は、これをしましようというものではなく、一例として参考にしてほしい。デジタル教材の作成や、じぶん発電所組立て費用の補助、全額を出す

とばら撒き感があるので、例えば半額など一部を補助する形にするなどである。幹事会の中で挙がっていた SDGs 講演会、吹田市内に地域材を活用した施設ができるので、その見学や木工をすることで温暖化対策に必要な木材を見て触れることのできるイベントも考えられる。

市として重視している分野は、地球温暖化対策、プラスチックごみ削減、食品ロス、生物多様性など、大体の分野を網羅しているが、こういった中で新規の取組ができればと思う。

議案書の送付について、昨年度は、同意があれば、データをメールで送信しました。本年度についても、同意いただいた方には同様に、メールでの送付のみにしようと考えているが問題はないか。

(三輪代表)

P14 の部会事業の参加メンバー（50 音順）について、例えば池淵さんのお名前はここには出ていない。もちろん池淵さんは部会に入っていないからだと思う。大ガスの荒堀さん、辻村さんの名前も入っていないが、参加メンバーの書き方はこれでよろしいか。

(事務局 田中)

今の三輪先生のご意見で、プロジェクトは入れてもいいと思った。ただ辻村さんの名前を入れる場合は、例えば「幹事会」として入れるとなると、色合いが違うようにも感じる。書き方をどうするかを考えなければいけない。

(三輪代表)

幹事会のリストは、入替えのときに出るが、2 年に 1 回、資料として配布すると思ったが。

(事務局 田中)

新しい候補者の名簿として議案に掲載する。

(三輪代表)

荒堀さん、辻村さん、小田さん、池淵さんなど重要なことを担っている方々のお名前が出ないのは、寂しいと思う。部会で活動しているということでの名前列挙だと思うが。

(小田)

参加メンバーを一カ所に列挙しているから目立つのであって、それぞれの活動報告の最初に名前を入れればいいのかではないか。そのほうがすっきりする。

(事務局 小山)

当年度の幹事のリストがあってもいいかもしれない。

(三輪代表)

同意する。幹事会のリスト、食ロス、温暖化プロなどで動いている方、ホームページ関係を担っている方など。エコレターの良永ゼミ全員の名前を書くまではいかないが、多くの方の協力で成り立っているからと思うがどうか。

(事務局 田中)

書き方をどうするかだ。

(事務局 小山)

小田さんのおっしゃるとおり、活動報告のところに名前を書くと、部会とプロジェクトのメンバーはほぼ出すことができる。最後に表で幹事リストを付ければ、ほぼ網羅できると思う。

(水川)

以前は、部会メンバーは活動報告に名前を記載する形だったが、いつからこの形に、どんな目的でなったのでしょうか。

(三輪代表)

思い出せない。

(事務局 田中)
私が来たときには、この形になっていたの、経緯は存じ上げない。

(事務局 小山)
私の記憶でも、活動報告ごとだった。見やすさのためまとめたのかもしれない。

(事務局 田中)
現在のメンバーでは、こだわりはないので、活動報告ごとに名前を入れることも可能である。

(事務局 小山)
ここのプロジェクトをあと二つ付けて、幹事リストを付ければ一緒になると思う。

(事務局 田中)
活動報告に幹事リストを付けるのは違和感があるが、皆さんはよろしいか。活動報告の中には、幹事会という名称は一切出てこないの、活動報告の下に付けるのは違和感がある。

(事務局 小山)
毎年の活動記録と、その年の幹事が誰か、資料内で分かったほうが良いと思う。

(福井)
活動報告の下に付けずに、一覧表にしてはどうか。

(三輪代表)
部会事業参加メンバー（50音順）の下に、プロジェクトが二つ、幹事会メンバーのリストがくるのでいいのではないか。

(事務局 田中)
部会とフラッグシップは活動報告書にいれるのか。

(事務局 八木)
部会事業の参加メンバー（50音順）に全部まとめるという話だ。

(三輪代表)
まとめると、この三つの部会の次にプロジェクトが二つきて、それから最後に幹事会メンバーのリストがくるということで、支障がなければこれでよろしいか。

(事務局 小山)
よろしければ、そうします。

(三輪代表)
名前出たくないという方もいらっしゃると思うが、本当に多くの方によって成り立っていますので、そこはきちり記しておきたいというのが代表の気持ちである。よろしいか。

(全員同意)

(三輪代表)
代表あいさつと、未提出の活動報告、この最終締め切りは、先ほどスケジュールから鑑みて5月いっぱいには整っていたほうがよいか。

(事務局 八木)
5月いっぱいのほうがありがたい。

(三輪代表)
皆さまも多忙だと思うが、あと2週間ほどで、確定を詰めたいと思うが、5月いっぱいでも大丈夫であるか。

(全員同意)

(三輪代表)
活動計画についても同様である。何か意見はあるか。

(小田)
この議案書全体について、紙の使い方が贅沢ではないか。ペーパーレスの時代なので、もう少し詰めると思う。

(三輪代表)

小田さんのいうことも分かるが、老眼がきつくなってきている。

(小田)

スペースも多すぎる。文字の大きさはこのままで、もう少し手間をかけてつめると1、2ページでも少なくなる。絵の横にも文字があるなど。

(三輪代表)

昨年は、何人に郵送で送ったのか。だいたい構わない。

(事務局 田中)

20名がメールでの受け取りを了承した。

(三輪代表)

30名近くは書面で送ったということか。

(事務局 田中)

そういうことになる。メール送信の了解を求めたとき、返事がない方には書面で送っている。

(三輪代表)

意外に多いので驚いた。できるところで少し改善を加えて、小田さんの貴重なご意見について、今後の取組の課題として、ペーパーレス化、ページ数の削減をこれからの課題にするということでしょうか。

(事務局 田中)

小田さんの意見は、行間を狭くする、余白を減らす、又は両方、活動報告の絵の横に文字を入れる、この三つでよろしいか。行間を狭くしすぎると見にくくなると思うので、できる限りは対応するという認識でよろしいか。

(三輪代表)

まずその辺から、やってみて、会員ができるだけメールで受け取るように促す対応をする。

(事務局 田中)

合わせてそうしたい。

(事務局 八木)

議案書の送り方について、基本はメール配信で、希望する方のみ、紙での郵送にしたいかがですかと事前に投げかけをするのでもよろしいか。

(事務局 小山)

昨年とデフォルトを変更するということだ。返事がなかったら紙で送っていたのを、返事がなかったらメールで送るということだ。

(事務局 田中)

そもそもメールアドレスを把握してない方には、無条件で郵送になることは理解していただきたい。

(事務局 小山)

返事がない人は、メールを読んでない可能性もある。

(事務局 田中)

そこを強行してメールで送り、議決が集まらないと困るので悩ましいところだ。

(三輪代表)

今年は、書面で送る人には書面で送り、紙が1枚増えるが、資源の観点からペーパーレス化に努めているので、メールアドレスを教えてくださいと伝えてはどうか。

(事務局 田中)

一度、エコレターを送ったときに、1度だけメールアドレスを教えてくださいとは送ったが、誰からも返事がなかった。再度、定時総会の機会ですべて送ってみる。

(三輪代表)

それをお願いします。

今月末まで期間があるので、修正等、よろしく願います。次は、予算決算の話であるか。

(事務局 小山)
 決算はまだ出ていないところを出していただきたい。

(事務局 田中)
 皆さまから活動費請求いただいたものは、全てお支払いしている。振込みがある場合はこれから動くところである。活動費請求書を今月頂いた場合は次月の幹事会で支払うことになっている。基本的に部会は動かないと思う。

(三輪代表)
 それが確定すれば、自動的に決まるということでよろしいか。

(事務局 八木)
 決算については自動的に決まる。

(事務局 田中)
 パンフレット発行につきましては、遅れて申し訳ないが、そこは動くと思う。

(三輪代表)
 6月の幹事会では、きっちりした数値で確定することになる。

(馬場(慶))
 COP26の報告会の講師謝礼を支払う必要があるが、伝えるのを失念していた。金額は8,000円になる。5月中に出したほうがよろしいか。

(事務局 田中)
 5月29日。

(馬場(慶))
 年度を越したときの処理をお願いしたい。役所でも戻ってするができないか。

(事務局 田中)
 基本的に出納簿は、通帳どおりにしか記載ができない。アジェンダの運用方法として、6月に払ったものを前年度決算で処理することは行ったことがない。5月中に払うのであれば、振込みにするしかない。現金の支給基準は、次月の幹事会支払になるということしか制度化していない。

(馬場(慶))
 振込先を教えてらもうという形でやってみる。

(事務局 田中)
 事務局が振込の処理を30日か31日にするというでよろしいか。講師謝礼の口座振込のものがあつたと思うので、馬場(慶)さんに送ります。もしなかったら、口座の番号だけ聞いてほしい。諸謝金はそのやり方があつたと思う。

(馬場(慶))
 よろしくをお願いします。

(三輪代表)
 決算案は5月中にすべて確定する。予算案も同様である。

(事務局 小山)
 予算については、(1)で申し上げたとおり、結構、使ってほしい。もし可能であれば、5月中に具体的にいくらかかるのか、上げてもらうと助かる。間に合わない場合は、予備費を多めに残しておき、年度途中で、やりたいことを幹事会にかけて予備費から使うようにしたい。

(馬場(慶))
 ご提案いただいた「じぶん発電」のパネル代の補助はうれしく使わせていただく。一人5,000円ぐらいでいかがか。

(事務局 小山)
 30人で15万、いいと思います。

(馬場(慶))
 受講人数は制限があり、10人までとのことなので、多額にはならない。できれば2回やりたいので、20人分、10万円であるかどうか。

(小田)

予算が余っているから、イベントの個人の参加費を補助しようというのは、ちょっとどうかと思う。これから先も、いろんなイベントが出てくると思うので、それは辞めたほうがいい。

(事務局 小山)

そういった見方は、当然あると思う。ただ、いわゆる補助金ということであれば、環境の施策を進めるにあたって、絶対やらないというほどのものではないかなと思うので、会の中でどうするかということになる。

(小田)

例えば、バスでいくから交通費を負担してもらうなどは、環境会議ではしている。

(三輪代表)

設備として個人に残るわけだ。

(事務局 小山)

吹田市はないですが、豊中市は家に太陽光パネルを付けると 5 万円はもらえる。それをごく小規模の 10 分の 1 でアジェンダがやるという。別の使い方があればご提案もあれば。

(三輪代表)

折衷案ではないが、例えば、補助を出すということは、補助を受けた人に義務が生じるやり方がある。受講して設置して終わりではなくて、後でデータを出してもらうというやり方もあるのではないかな。発電施設を設置してもらうということは、豊中ではうまくいっているかもしれないが、吹田でやってみると成功事例ばかりではないと思う。例えばベランダの向きが悪く、ほとんど役に立たない人もいるであろう。あるいは子どもが触って感電したなどがあるかもしれない。これを機にデータを提供してもらうための補助金、そんな捉え方もできるのではないかな。

(小田)

それもありがたかもしれない。

(三輪代表)

その後もお付き合いいただくという考え方はどうだろうか。

(馬場(慶))

いろいろ条件を付けるのが難しいというか、データを出してくれる人は、5,000 円引きで、そうじゃない人は実費ですというのは難しいと思う。何かいい方法があればと思うが、すぐにはまとまらない。お時間いただけたら考える。

(三輪代表)

途中で簡単なアンケートを取るとか、困ったことがあれば教えてもらうとか、毎日の発電ワット数の記録をお願いしたら引かれるが、そこまで克明には不要だろう。今後の改善のために、ご意見聞かせていただくというのはどうだろうか。

(事務局 小山)

魅力的だと思います。確かに、受講者を縛ることになるので、ないほうが自由だというのも分かりますので、エネルギー部会で検討していただきたい。こういう条件があれば、小田さんも駄目ではないということによろしいか。

(小田)

材料費は〇〇円、その内補助が××円と言うことに違和感が残る。後々のイベントで、「補助ないの」と聞かれると思う。

(馬場(慶))

雑談であるが、ウクライナ情勢で物価が上がっており、通常の値段よりも高くなっているという話を、先日講師の方から聞きました。そういうもの補填としてなど、少し考えたい。

(三輪代表)

では考えていただくという方向で小田さんよろしいか。

(小田)

承知した。

(三輪代表)

他は、時間も押しているので、事務局と直接、話し合う方向でよろしいか。

(事務局 小山)

それでよろしければ、ぜひ。自然部会さんも何かあれば、ぜひ。それでもお金が余るようなら、まだ検討段階ですが、新規事業候補にある子どもたちのためのデジタル教材を作成したいと思う。市内の小学生は全員 iPad を持っているはずなので、そこで動かすものを用意できないかと思っている。教育委員会の壁もあり、どうなるかは不明ですが。

(三輪代表)

共有画面にある事業候補は、事務局がしたいというものであるか。

(事務局 小山)

これはたたき台である。

(事務局 八木)

こういう例があるということだ。

(三輪代表)

先ほどのデジタル教材の話ですが、デジタル化は急速に進んでいる感じがする。例えば、海洋プラスチック問題でも、企業がアプリを作り、落ちているプラスチックの写真を撮影して企業に送ると、全国地図でどこにプラスチックごみが落ちているかマッピングするということを既にやっている。例えば吹田市内のどこにどんなプラスチックごみがあるか、素材の分析もする。昔のように歩いて探す手間も省けるなど、デジタル化は勢いよく進んで行くという感じがする。デジタル化に関しては考えられる案を練ることができたらよいと思う。期間、時間の問題もあるが、どうでしょうか。

(事務局 田中)

外側の話になるが、新規事業は、活動計画と予算案のところには何かしらの形で入れる必要がある。幹事会で決定できるということになると、立てた計画をいくらでも幹事会で修正できるので、やはり総会ではある程度、概要だけでもいいので新規事業として何をするかぐらいは決めておいたほうが良いと思う。細かいところまでは時間の問題もあるので、作り込めないと思っている。

(小田)

三輪先生が先日から、SDGs について何かしなければという話があった。SDGs を知ってもらうためのゲームがある。詳しくは知らないが、結構、お金がかかったと思う。それを2、3回、会場を3カ所ぐらい使ってやってみるのもいいではないか。

(三輪代表)

どこかの NPO 法人が SDGs のプログラムを持っていて、それをまとめる講師資格も取らないといけない。結構な金額がかかったと思う。

(小田)

どなたかにその資格を取る費用を出すとか。

(三輪代表)

事務局の方で資格を取った方はいらっしゃいますか。

(事務局 小山)

10万するならないと思う。

(事務局 田中)

10万円ぐらいだったと思うが、そこまで出しては誰もいない。

(三輪代表)

千里リサイクルプラザでゲームを考えているチームがいそうなので、コラボは可能かもしれない。この議論は今日中に答えが出ないものも多数含んでいるので、今後、活動計画を固めるのは5月中が必須なのかどうかというところだ。監査が6月10日までなので、6月のなにかしらの日に幹事会で議案書を確定するので、それまでにということになる。

(事務局 田中)

本当の最終は、6月の幹事会だ。ほぼそこは完成版にしたいと思っている。
(三輪代表)
例えば、5月の最後にもう一度、参加できる人だけでも参加して、話し合うのはどうでしょう。ちょっと厳しいでしょうか。
(小田)
メールではだめでしょうか。
(三輪代表)
オンラインですが。
(小田)
何日までに返事をくださいということで、多数決にする。
(事務局 田中)
メールでやり取りということですが、新規事業を思い付いた方が、1週間以内にメールで事務局に送り、それをまとめて皆さんに投げかけて多数決、投票制にするということか。それとも事務局と三輪先生で考えて、それを幹事の皆さまに送るということか。流れを決めてほしい。
(小田)
皆さんでメールのやり取りをし、何日までに、多数決で決めようという方法は無理であるか。
(三輪代表)
新たな案を出せる方は、本日17日ですので、22日までに全員にメールで届けてください。そのあと、意見を頂戴して、23日から28日の間に議論するということがどうですか。
(事務局 田中)
では幹事の皆さま全員のメールアドレスを事務局から皆さまに共有していいということか。そこからのやりとりでということか。
(三輪代表)
そうだ。忌憚ない意見を出して、メール上で率直な意見を出すということでもよろしいか。事務局さんもよろしいか。
→(事務局) お願いする。
→(全員同意)

三輪代表の後任について

(三輪代表)
私から提案がある。私は今年67歳になるので、できたらそろそろ次の代表を決めるステップを、今から何年間かけて踏んでいきたいと思う。全国のNPOで一番課題になるのが、後継者が見つからないということだ。どこでも大きな悩みであるが、最短3年、最長8年で決着をつける、こういうスパンで考えていきたいと思う。できれば3年以内に後任を見つけたい。
人選の候補として、環境方面の学識経験者に来ていただいたらどうかと思う。特に活動に深く関わっていなくても、全体を見て、流れを整える方がいればと思っている。しかし、候補者のアイデアは全くない。そこで皆さまに考えていただきたいのは、学識経験者が参加しやすい仕組みである。何年かかけて慣れてもらうなど、参加しやすい仕組みを柔らかく造りたい。
方法としては、例えば、アジェンダの規約に書き込んで、「学識経験者」の項目を作るのか、それとも幹事会の調整で、一般会員に入り、幹事会にオブザーバーで入ってもらうことからお願いしていくか。規約をきっちり改正するのか、今のままで入れるよう工夫していくのかだが、皆さんのご意見を聞きたい。もし規約を改正するなら今回の議案書の中で扱うことになるので、今回で議論が定まるようなものではないがどうか。
一般会員として入り、幹事会にはこちらが呼び掛けて入っていただくこともできる

と思うが、事務局さんは、仕組みの点で何かあるだろうか。

(事務局 田中)

幹事の枠として、学識経験者が1～2名入れることになっている。公認候補の方が幹事に幹事として参加してもいいなら、その方法で参加していただく。その場合は個人会員になるので、会費を支払っていただく。

それ以外の方法としては、幹事会が認めた方はアドバイザーとして幹事会に参加できると会則にあるので、それを毎回続ける。

(事務局 八木)

幹事会には、必要に応じて役員以外の関係者に出席を求め、意見を聞くことができるという内容が会則であるので、会員にならなくとも、会議に入ってもらいたい場合は、この会則を使う方法もある。段階に応じた方法があるという状況だ。

(三輪代表)

今の、田中さん、八木さんの話で、一応、今の会則で幹事会に出席することもできるという説明だった。

残念ながら、すぐに候補者を思い付かないが、考えて行かないといけないので発言した。

(福井副代表)

ある程度、この組織を知ってもらい、後継者としやってもらうほうがいいと思う。あるところから、引き抜いて、ここの代表者になってくれというよりいいと思う。

(馬場(慶))

よろしいと思う。誰を皆で検討しないとイケない。

(小田)

20年以上、うちはずっと同じで変わってないので、何とも言えない。

(三輪代表)

辻村さんの報告の中で、先生の名前が出てきたと思う。大和大学の忙しさは強烈だと思うが、どんな方でしょうか。

(辻村)

天野先生は社会学部の教授で、学生のベンチャー企業の指導をしたり、株式会社を作ったりという取り組みしている。個人的な付き合いはない。教授陣の中でも若く、元気な先生がたまにいらっしゃるの、声を掛けていく位置にはなっていないとおかしいと思う。この会にどうやって導いていくかは、考えていかないとイケない。

(三輪代表)

初めから代表でといっても、誰も来ないと思う。関大には都市計画があるし、大和大学さんは政策がある。もし少しでも環境に関心がある人で、やはり市内の大学から参加してもらいたいと思う。京都清華大学にお願いしてみようかと思ったが、京都住まいの方に参加してもらいたいのも忍びない。本日はこの程度の話にとどめたいが、皆さまもアンテナを張っていただき、紹介いただければと思う。

(辻村)

候補となるような方がいないか、気に掛けておく。

3 環境月間について(資料6)

(事務局 八木)

先月は大まかなパネル枚数の確認であった。事務局で調整した結果、資料6にある枚数になった。展示案も示したとおりで、当日は他の室課も入るので、やや狭くなるが、1列で13枚並ぶ。

展示内容、当日の設営と最終日の撤収にお手伝いいただける方、発注の都合上、新規でポスターを印刷したい部会を確認したい。

(三輪代表)

もう一度日程を確認したい。

(事務局 八木)

日程は6月8日（水）から6月14日（火）までの1週間である。
（事務局 田中）
皆さまに設営の手伝いをさせていただきたい。8日（水）は10時から、14日（火）16時から、可能な方は教えてほしい。

（小田）
小田は両日とも参加する。

（福井）
8日参加する。

（事務局 田中）
食ロスから水川さんと池淵さんが8日参加を伺っている。

（三輪代表）
8日は、4名だが、14日の16時はどうか。

（事務局 田中）
食ロスの方は、どなたか手伝いにくるという話であったが。

（水川）
竹林さんが両日参加できる。

（事務局 田中）
今、伺った人で設営は十分な人数で、2名でも撤収はピンを抜くだけなので可能だと思う。

（三輪代表）
またご協力できそうなら事務局に連絡ください。次に当日のパネル枚数は13枚でよろしいか。温暖化が2枚、これは八木さんにご協力いただいたが、よろしいか。

→（事務局 八木）大丈夫だ。

（三輪代表）
食ロスは大丈夫か。

→（水川）食ロスは5枚でお願いしている。

→（三輪代表）では確定で。

（三輪代表）
エネルギー部会はどうか。

→（馬場（慶））2枚で大丈夫だ。

（三輪代表）
自然部会はどうか。

→（事務局 田中）馬場多佳子さんは欠席のため、返答できません。

→（三輪代表）前回、この枚数だと話はしたと思う。

（三輪代表）
資源部会はこれでよろしいか。

→（水川）1枚で大丈夫だ。

（三輪代表）
すいた市民環境会議は1枚で大丈夫か。

→（小田）大丈夫だ。

（三輪代表）
予定どおり、この枚数でパネルを用意するということが、印刷する必要がある場合は、事務局で一括して発注ということになるか。

→（事務局 八木）新しく印刷するものがあれば、こちらでまとめて発注する。

（三輪代表）
現在、プリントが必要だと分かっているところはあるか。

→（馬場（慶））COP26の報告会が終わったら、作成して印刷をお願いする予定だ。

→（三輪代表）何日になるか。

→（馬場（慶））29日が開催なので、その週を見てもらいたい。

→（三輪代表）8日に貼るので、外注するので、余裕をもってほしい。

→（事務局 田中）1 週間は見てほしい。6 月 1 日にはいただきたい。
→（馬場（慶））承知した。
（三輪代表）ポスター発注は 6 月 1 日締め切りということで、水川さんのところはどうか。
→（水川）食ロスも資源部会も完成している。
（三輪代表）
小田さんのところはどうか。
→（小田）A4 の紙にプリントアウトするしかない。
→（三輪代表）小田さんが用意するという理解でよいか。
→（小田）そうだ。
（三輪代表）
では外部発注の馬場さんのポスターを待つということで、事務局さんはよろしいか。
→（事務局 八木）大丈夫だ。

4 その他

・zoom の契約

（事務局 八木）

前回からの継続事項で、金額については前回から出しているものに変更はない。前会議で、土日の使用ができるか、ホストを変更してもできるかという質問があったが、基本的にはアカウント（ID、パスワード）があれば、どの端末でも、土日でも使用できる。その上で契約するかどうかだ。

（三輪代表）

契約するということがよいか。

（事務局 田中）

支払代行会社、安心計画を提示しているが、検討事項としては、代行会社が 1 社しか見つかっていない状況をどう判断するかと、利用料 35,760 円／年は、税抜き価格で、また利用料金自体高いと思うので、それを幹事の方々がどう判断するかを意見をいただきたい。

（事務局 小山）

契約したとしても、今のところオンライン講演会もなく、利用する予定がないと思う。会議で使えるが、役所のアカウントが現状使えているので、それを 4 万弱払うのはどうかと思う。

（三輪代表）

市役所で間に合うということか。

（事務局 小山）

ここでやる会議については間に合う。

（馬場（慶））

今のところ、対面でやっているのだから、それほど必要性はない。

（水川）

対面を考えているが、状況によって分からない。

（三輪代表）

正直、土日なら、私もアカウントを所有しているので、お貸しする。

（水川）

この zoom の契約をするにあたり、あと 1 カ月後に必要だから、申込みということではできないのか。予算に挙げる必要があるということか。

（事務局 八木）

この代理店だと月払いはできない。Zoom を契約するなら年額 4 万を支払う必要がある。

（水川）

年額にはなるが、必要と分かったときに入るということはできないのか。1 回だともったいないということか。

(事務局 小山)

1 回だけの使用なら、zoom にはいる決断はできない。10 回使う予定があるなら、入りましょうとなる。

(三輪代表)

1 回だけ 100 人規模の講演会を zoom でやりたいという場合、市役所のアカウントを使えるか。

(事務局 小山)

私は何とかしたいと思っている。

(三輪代表)

水川さんの質問に対して、市役所のアカウントを借りるという切り抜け方もあるということではよろしいか。

(事務局 小山)

そうである。

(小田)

環境会議も 10 月までは契約しているので、急にいるという場合は大丈夫です。

(三輪代表)

いざというとき、使わせてもらってもいいということか。

(小田)

100 人が使えるアカウントなのかどうかは、自分は分からないが。

(事務局 小山)

環境会議は、どうやって契約しているのか。

(小田)

個人で契約してもらい、環境会議が払っている。カード決済である。

(事務局 小山)

結局、銀行振込で支払ができれば、zoom アカウントを取ってもいいと思うが、どうやってもできないので。

(事務局 田中)

zoom 費用は会費から出ているということか。

(小田)

会費から出ている。

(三輪代表)

環境会議は個人名義でアカウントを取って、それを会から支払っているということではよろしいか。

(小田)

支払いをしている個人から領収書をもらい、支払っている。

(三輪代表)

アジェンダの場合はその方法ができない。

(事務局 小山)

過去にやったこともあるが、あまり望ましくないので、できれば避けたい。

(三輪代表)

その理由から代理店「安心計画」を見つけたという経緯である。zoom アカウントがなくても切り抜けられそうだが、水川さんはどう思うか。

(水川)

必要なときは、小山さん、三輪代表、小田さんをお願いすることにする。

(三輪代表)

zoom 契約については、手続きも代理店を通すなど、非常に難しいこともあり、今回は見送るということではよろしいか。

(全員同意)

(事務局 八木)
活動計画に zoom の費用を載せているがそこは削除する。

・ホームページに関して

(藤田)
ホームページ改修については、テーマが決定した。あとはトップページの構成（活動報告、ブログ、議事録等）についての検討を 20 日にする予定である。

公開用のテストページを作成しているので、皆さんに見ていただけるように事務局はできますか。

(事務局 八木)
テストページの URL を共有します。

(藤田)
皆さんには、それを見た上でご意見をいただきましたら、会議で検討し、できるだけ反映したいと思う。

(三輪代表)
URL を配信ください。テストページを見た上でご意見を願います。

・積み残しの議題（これまでの見直しと今後について／SDGs 啓発について）

(三輪代表)
活動計画の中でもあった団体交流を 1 度開催したが、1 度だけで終わるのかという話もある。これを活動計画の中に載せた方がよろしいのではないか。

(事務局 八木)
活動計画の中に、全体で交流することを目的とするとあるので、その枠内であれば入れることはできる。

(三輪代表)
予算も 5,000 円上げていただいているようだ。これも入ってくるので、また検討いただきたい。

(事務局 田中)
令和 5 年 2 月～5 月はフェスタが前提になっているので、令和 5 年 6 月～令和 6 年 5 月の 1 年間に変更してよろしいか。

(三輪代表)
前回の話では、次に何をするかという話はあるが、もう一度集まりましょうという話だった。前回冬にやって、次もまた冬というのは間延びする気がする。

以上、議事にあげたものは全体が終わったということで、よろしいか。
(全員同意)

情報共有

(三輪代表)
余談であるが、面白い活動を見かけたので情報共有したい。主催者名を忘れましたが、東京農工大の造園学科卒業後、大阪市内を中心に「ぐりぐりマルシェ」というのをやっている人がいる。マルシェなので有機農産物とか地場の食品を店舗貸して会費を取っている。一方で参加者の中から希望を募って、生ごみたい肥の作り方も抱き合わせてやっている。毎月 1 回やっているようだ。その話を聞いて、食べ物と環境を合わせて、広げているのは素敵だと思った。一度見てほしい

主催者の女性は、もともと造園畑で、東京農工大の出身なので、企画力が強い方のようです。一度直接お会いして話を聞いてみたいと思っている。環境を全面に言うのではなく、地産地商を進めていこうとしているところが素敵だと思った。

もう一つ、大阪府が 2 次募集をかけている環境保全の助成金事業ですが、うちもム

	<p>オンラインコンサートでお金を頂き、大阪府庁の方も何人か見に来ましたが、その中で大阪府がアートとプラスチック問題を引っ掛けて補助金を出す事業をやっていません。「アートによる海洋ごみ対策啓発」、実は 1 次募集のときに、希望者がいませんでしたが、2 次募集をもう一度かけるとのことだ。大阪府の考え方は、プラごみだけを集中的に啓蒙啓発しても人は集まらなないと、もっと異分野の方からアイデアを出したらどうかということだ。例えば我々だと、江坂のキャットさんをお願いし、クールアースウィークのポスター作りなどをお願いしているが、芸術系に関心のある学生に呼び掛けていきたい。</p> <p>以上のことを参考に活動の幅の広げ方、環境だけではないところに、いろいろと関わりながら多くの市民参加を求めていくという考え方が広まってきていると思う。</p> <p>以上情報提供です。</p> <p>次回の予定</p> <p>(事務局) 6月9日まで会計監査のため10日以降で願います。できれば13日に。 (馬場(慶)) 13日の週は、議会のため出席できない。10日も無理である。 (辻本) 13日の午前中は難しいが調整するように頑張る。 (小田) 10日は前日できない。 (三輪代表) 6月13日(月)午前10時からで願います。</p> <p>(事務局 田中)</p> <p>7月もタイトなスケジュールで回す必要があるので、7月の幹事会の日付だけ決めておけないだろうか。決めておいたほうが、予定を空けやすいと思った。</p> <p>(三輪代表)</p> <p>定時総会に伴うスケジュールにあるように7月8日~13日の間ということか</p> <p>(事務局 田中)</p> <p>そのとおりで、書面開催の回答文案をそこで決定する必要がある。</p> <p>(事務局 八木)</p> <p>8日が締め切りなので、11日、12日の2択になる。</p> <p>(三輪代表)</p> <p>12日(火)の午前中はどうか。</p> <p>(全員)</p> <p>大丈夫だ。</p> <p>(三輪代表)</p> <p>7月の幹事会は、7月12日(火)10時からということで決定した。</p>
6月幹事会予定	令和4年6月13日(月)午前10時から(予定)オンライン予定
7月幹事会予定	令和4年7月12日(火)午前10時から(予定)オンライン予定